

本件議論ノ結果、海軍省幹部年俸改定案にて要望致候事、
 一、國庫開支常備費額度大半削減にて國子でござり、然る本半財入ハ
 計算費額度を輸送費額度に改め、共済隊合へ輸送費額度ニ
 二、支拂額度へ相應や相手站共済隊合費金を國庫代償額八十萬
 三、共済隊合資金を並立賃金改進費金として改め、共済隊合費金を輸送費額度
 一、共済隊合資金改進額度に前議言、許可改善、要望致候事、
 二、共済隊合資金改進額度に並立賃金改進費金を輸送費額度
 三、共済隊合資金改進額度に並立賃金改進費金を輸送費額度
 大阪市共済隊合へ御用資本改進して並立賃金改進費金共済隊合

右案ニ對シ希望意見 渡邊年之助

本案ハ中央委員會提出案ナルガ自分ハ第二回中央委員會ニ欠
 席セル爲メ案ノ内容ヲ知ラナイガ聞ク處ニヨレバ現在海軍聯
 盟ガ住宅ヲ經營シ貸付等ガ味ク行カナイノデ困ツテ居ルヨウ
 デアルカラ中央委員會ハ立案スル場合充分研究サレタイ。

外ニ原案反対ノ意見アリタルガ向上會阪口若松ノ動議ニヨリ
 渡邊年之助ノ希望意見ヲ充分參照シ中央委員會ニ一任スルコ
 ト、シテ可決

二三、共済組合年金制實施促進ノ件（可決）

説明 本部 阪口若松

本案ハ毎年大會ニ提出シ當局ニ要求シテ來タノデアルガ今ニ
 政府ハ之ヲ認メナイ陸軍ノ軍人ニハ恩給制度ガアルノニ、
 軍人ト同ジク政府ノ事業ニ從事シテ居ル我々ニハ此制度ガナ
 イ故ニ我々モ軍人ト同様ニ年金制ノ實施ヲ求ムモノデアル